

## 大学祭

2023. 11. 30

長男が大学生の頃は、毎年、大学祭に行っていた。一番の目的は、彼が音楽をやっており、そのサークルの演奏を聞くためである。他にも各サークルの模擬店やキャンパス内の見学ということもあった。

スポーツであれば、試合会場での応援となるが、音楽だと、定期演奏会や大学祭、各種イベントとなる。おかげで、彼のバンドメンバーとは、何度も顔を合わせる事となった。スポーツとの大きな違いは、ドキドキしなくて済む点である。勝った負けたがない。音楽コンクールでもないため、順位もつかない。

いつぞやは、毎晩代わる代わるバンドが出演するというお店に、月に1回のペースで出演するようになったとのことで、家人と行ってみた。そこには、お客さんを前にして、慣れないながらも生き生きと話し、演奏する、いつものバンドメンバーがいた。

今月上旬には、長女の大学の大学祭があった。最初で最後となるため、家人と行ってみた。彼女が所属しているのは、スポーツサークルであるため、模擬店を出していた。お店に顔を出すと、彼女は「〇〇さん」とか「〇〇先輩」と呼ばれていた。それはそうである。彼女は、最上級生の4年生である。

入場制限がないため、人が自由に出入りしている。大賑わいである。屋外ステージでは、様々な団体の演奏が続き、切れることなく音楽が鳴っている。活気にあふれている。一通り見てまわり、食べたいものを食べた。

さて、どうするか。ここで、過去の経験が生きた。息子のサークルの演奏を何度も聞いてきた経験である。建物の中に入った。きっと音楽関係の催しをやっているはずである。こういうときは、アカペラサークルがよい。多くの大学に、このサークルは存在する。やはり、あった。以前、テレビの番組に出演していたので、あるとは思っていた。ここに、落ち着いた。どのグループもうまかった。気軽に、構えずに聞けるのがよい。

息子の大学も娘の大学も、大学祭の中身はさほど変わらない。だが、雰囲気が違う。大学の校風のようなものだろうか。どちらがいいという話ではない。比べると、特徴が見えてきておもしろい。2人とも、大学にはお世話になった。とりわけ、サークルの仲間には感謝しかない。

娘は、コロナが収まり、チームのメンバーと大会にも出かけた。息子は、様々なイベントにも出演しており、遠くは名古屋までレンタカーで出かけていた。きっと、最後の大学祭見学になるであろう娘の大学をまわりながら、我が子の大学生活に思いをはせる事となった。

アカペラを堪能し、キャンパスを後にした。キャンパス周辺を散策しながら、息子とも合流し、久しぶりに家族で夕食を共にした。コロナが収まり、大学に大勢の人たちが入ることができ、学生たちが生き生きと活動できるのは、幸せなことである。